

和光会会報No. 50

－三菱電サービス（菱サ）～三菱電機ビルテクノサービス（MELTEC）本社OB会－

◆ 第15回総会開催

去る29年6月17日（土）15：00～17：30町屋システムプラザB館8階大会議室において第15回和光会総会が開催されました。

梅雨シーズンで天候が心配されましたが、快晴の下、76名の会員が参加され開催されました。総会は、布施幹事の司会で定刻に開催。



幹事代表挨拶・金井幹事

最初に幹事を代表して金井幹事より開会挨拶がありました。要旨次の通り。

初めに今年もここ町屋プラザにて和光会総会が開催されましたのは、朝早くから、机の配置、展示作品準備等会場設営をして頂いたMTBのスタッフの方々、岩村取締役人事部長のご配慮。また、ここにご参加の会員の皆さんに厚く御礼申し上げます。先般の幹事会に於いて、会費が東京悠和会と比較して高いとの発言があり、今回、会食はお弁当を中心に多少のオードブル等を用意致しました。なお、お弁当は、その日の朝に京都から取り寄せたものですので、ご了解頂きたい。

続いて総会議案の審議に入り、寺門事務局より、配布資料に基づき第14期（28年度）事業報告・会計報告があり、また、佐藤監事から監査報告があり多数の拍手をもって承認されました。

今年は幹事改選の年にあたり、篠原徳興氏が退任し、やはり冷熱畑の小松友雄氏が新幹事に選出されました。

氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
大家 昌五	金井 敏幸	小松 友雄	佐々木憲一	佐藤 貞夫
地頭所 惇	土屋 善治	寺門 三男	橋本 英雄	原田 憲一
布施 昌義	松崎 啓子	若宮 きみ子	渡辺富美子	渡辺美樹子

幹事の年齢も高齢となり、世代交代を推進させていきたいと思っております。来年度は改選期ではありませんが、事務局より指名させていただきます。

次に、第15期（H29年度）事業計画が配布資料に基づき、寺門事務局から説明がなされ、併せて承認されました。最後に次のようなお知らせあり。

①カレンダーの追加・手帳の頒布についての申し込み方法の説明

（すでに6/30に申し込みは締め切りました。）

②MTB和光会の連絡・問い合わせ窓口の確認

③和光会ホームページのアドレス変更

新アドレスは会報で紹介する。（新アドレスは後述の「事務局より」をご覧ください）

総会に引き続き布施幹事の司会により懇親会へ！

はじめに会社を代表して取締役岩村人事部長より来賓ご挨拶がありました。ご挨拶要旨は下記の通り。人事部の岩村でございます。本日はお招き頂き有難うございます。

和光会の皆様におかれましては、ご健勝でご活動のこととお慶び申し上げます。

本日はご列席の方々とのご交流と会食を楽しみに会場に参りました。多くの方との面識があり、公私ともどもお世話になり、我々や後進を導き、育てて頂いたことに感謝致します。

当社も今年で64期を迎え吉川社長以下、約9500名体制で事業に取り組んでおり、この中には今年入社の子会社研修生351名も含んでおり、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックへのインフラ整備をはじめ事業拡充に向け体制を整えている最中であります。

1. 当社の業績について

昨年度(2016年度)は完成工事高約3,250億円を計上することができました。完工高は増収となり過去最高額を更新しております。昇降機事業は、新設販売は他社との厳しい競争が続いておりますが、一方でモダニが大きく伸びております。ファシリティ事業は、利益ある成長実現に向け、ソリューション営業やサービス差別化等の強化に取り組んでいるところです。これら今日の会社発展の礎をつくり、成長を促がして戴いた諸先輩の皆様には重ねて御礼申し上げます。

2. 人事・総務の取組み

私の担当である人事・総務関連の取組みについて紹介致します。今日の政府の動向、法令関連など会社を取り巻く環境は変化しており、当社でも働き方改革、女性活躍推進、倫理・遵法の徹底など新たな課題や既存策の強化に取り組んでおります。これまでもそうですが、将来に向けても当社の宝・原動力は“人”であり、人づくり理念(2010年制定)を掲げ、人の育成・成長を会社の発展に繋げることに力を注いでいるところです。

①現場で働く社員への応援

現在のテレビCMは、当社社員への応援ソング編で、人知れず一生懸命に働く全ての社員に向けた応援ソングがバックに流れています。出演者は当社社員です。日曜日の「シューイチ(日テレ)」「林先生が驚く初耳学(TBS)」「Mr.サンデー(フジ)」等でご覧頂けます。

②昇モダニ研修棟建設計画

モダニが拡大する中、必要十分な教育を行っていくため、教育センター内にモダニに特化した研修棟新設を計画中です。3階建て、2018年10月竣工予定です。

3. 会社トピックス

①ファシリティ戦略商品として、監視カメラと入退室管理が連動したセキュリティクラウドサービスを月額2,000円から利用できる「おてがるっく」を4月に市場投入、多くのメディアにも取り上げられました。

②オリンピック・パラリンピック関係では、ウェイトリフティング競技の会場となるコンベンションセンターで大口の昇モダニを受注しました。ユニバーサルデザインや世界の安全基準等を備えた仕様となっています。三菱電機がオフィシャルパートナー、当社はサブライセンスを有しており、これからは競技施設・空港・駅舎等を中心に事業拡大が期待されます。

以上ですが、本日は時間の許す限り、色々とお話したいと思います。宜しく願い致します。和光会の盛会を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

続いて木藤史郎さんの乾杯の音頭で懇親に移りました。本年よりお弁当方式になりゆったりと年一度の参加者間での夫々の方の思い出、健康問題やその他近況等、懐かしい顔や、思いがけない人との懇談に花が



来賓ご挨拶 取締役 岩村人事部長



乾杯ご発声・木藤史郎氏

咲きました。日頃の生活を他の人と話すことにより、心をリフレッシュする場にして頂ければと幹事一同願っています。

懇親会中ほどで本年度新入会員5名の方のご紹介があり、今回の和光会総会に出席された酒井秀行さんのご挨拶がありました。

引き続きビンゴゲームに入り、毎年恒例となりました名司会者の土屋幹事により、楽しく、盛り上がりを見せ、進行されました。今年も各本部より寄贈されたノベルティグッズの賞品（ゴルフ関係のものをはじめ、クオカード、図書券、牛革製ブックカバー等々……）をめざして。中でも、10回目の早さで和田昭喜さんが見事「ビンゴ」で豪華賞品を一番乗りでゲット致し拍手喝采をあげました。ビンゴは全数やらず30名とし、残りの方は残ったものの中から希望したものを選んで頂きました。

これも恒例となりました『みんなで歌いましょう』のコーナーでは、地頭所幹事の指揮のもと、東大路さん、鳩谷さんの女性2名の方に前に出ていただきその歌声に合わせて「ふるさと」「夏の思い出」「知床旅情」を、大合唱し大いに盛り上がりました。

最後に原田幹事の本メで閉会となりました。

例年のようにC館81・82会議室で全員での記念写真の撮影があり、来年も皆さん元気で、誘いあい参加致しましょうと言葉を交わし、散会となりました。

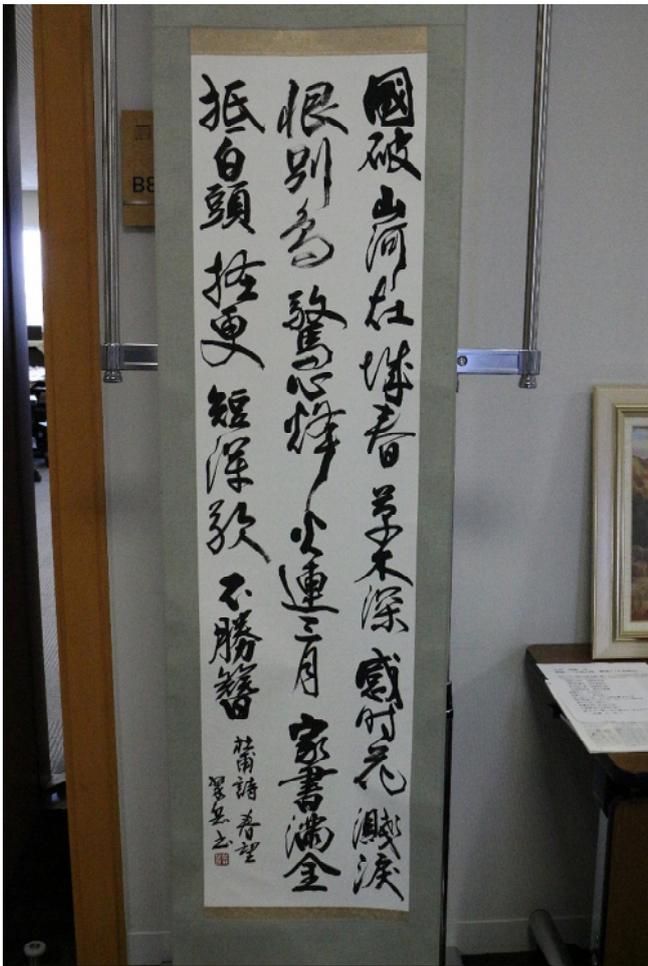


全員で記念撮影



総会風景

懇親風景



展示コーナー

ビンゴゲーム

今年も8階ロビーに会員の作品展示コーナーが設けられ、10名の会員の方から作品の出展がありました。

残念ながら和田昭喜さんの「竹細工」は今年秀作が出来なかったので出品を断念され「写真」だけになりましたが、久しぶりに中村弘道さんの「油絵」、鈴木廣行さんの「木版画」の展示もありました。

また、今年もパワーポイントを使って MELTEC の過去と現況をスライドショーで紹介があり、この DVD をビンゴゲーム大会の賞品にしました。

これら素晴らしい作品（版画、水彩画、竹細工、書道、陶器等）を出展して頂いた方々に深く感謝いたします共にお礼申し上げます。

展示会は来年以降も継続を予定しておりますが、種々な趣味をお持ちの会員も多いと思いますので、作品の出来栄をあまり気にせず、出展していただきたいと思います。

なお、今回展示された作品の紹介は次号以降順次ご紹介をしていく予定です。

趣味の展示コーナー 出展者と作品（敬称略、順不同）

No	氏名	作品のジャンル	作品名	大きさ・様式
1	金山 幸雄	陶芸	黒泥「龍紋様香炉」	15×15×20
			半磁「龍紋様一輪挿し」	15×15×20
			黒泥「樹木紋様急須」	15×15×20
			備前「酒器セット」	15×15×20
2	樋口 義三	水彩画	ヨーロッパの名城 ノイシュウバアン シュタイン城	
3	布施 昌義	日本画	波浪	F10号(70×60)
4	和田 昭喜	写真	テルテル坊主	半切(40×50)
5	笠井 宗男	油絵	暮秋	F8号
			新緑の箱根路	F30号
		書道 条幅	杜甫の詩（五言絶句）「春望」	198×50
6	東山 孝幸	水彩画	北の秋(北大牛舎)	
			図書館(慶応大学)	
			開港記念館	
7	中村 弘道	油絵	樹霜	F30号(93X75)
			道志みちの桜	F20号(77X65)
8	鈴木 廣行	木版画	尾道の風景	75×65
			南部坂(六本木)	75×65
9	小藤 俊雄	木彫刻	仏像「薬師三尊像」	26×45×30
10	佐々木憲一	スライドショー	当社と和光会のあゆみ(パワーポイント)	

◆ 我が横手事件の顛末

…… (2017-06) —山本 拓弘（馬骨）さんから投稿頂きました—

いつもとは少し違う旅の話です。横手とは、あの雪国の風物詩「かまくら」で有名な秋田県横手市のことです。事件というのは、全くの私事であり、偶々旅の途中に横手市で出くわした出来事のことです。世の中のどこにでも埋没していそうな話の一つです。

事件は角館の夜桜に酔った翌日に発生しました。しだれ桜の鑑賞は「ライトアップした樹の真下から見上げるのが最高」というのを知った翌日、今度は山の方へ行ってカタクリの花の絨毯を見ようと向かった

のですが、走り出して直ぐ、車の下方から「ガタン！」という音がして、そのあとも又時々異音が発するのです。車を止めて見ても見当もつかず、不安になって行くのを止め、角館の車屋さんに診て貰うことにしました。1時間ほど待っての診断結果は、スタプライザー—という装置が老朽化してガタが来ており、そこから音が発するとのことで、走行に特に差し支えなしとの判断でした。機械物には殆ど無知の自分は、それでも不安になり、旅を取り止めて一度家に戻って詳しく診てもらおうことにしようと、引き返すことにしました。

それで国道13号線を山形方向へ向かって走っていたのですが、時々異音はあるもののこのまま大丈夫だろうと思っていたのが、横手市に入って郊外のバイパスと思しき道を走っていた時、何と今度は異臭がすると家内が言い出したのです。あわてて近くにあったイオンの駐車場に車を入れて見て見ると、何と左後輪の下にオイルが漏れているではありませんか。幸い近くにJAFの事務所があったので、直ぐに飛んで行き、担当の方に来て頂いて診て貰いました。その結果は、オイルはデフから漏れており、これ以上の走行は無理との診立てでした。直ぐに修理して貰おうと、近くのトヨタの修理場にJAFの方から連絡して頂いたのですが、5月の連休前で、今日は既に満杯の状況であり、受付は1週間後でなければできないとの回答でした。(1週間の連休が決まっていた) 家まで曳航して貰うことも考えたのですが、保険の負担の限度額を遥かに超える金額となる見積りで、自己負担額はかなりのものになってしまうとのことです。結局1週間待つことにし、その間はイオンの方の許可を頂いて、駐車場の片隅に車を置いての暮らしとなりました。

1週間不安を抱えたまま駐車場で暮らして、ようやく受付をして診て貰った結果は、更にこの先の見通しに不安を覚えるものでした。デフのシャフトが破損しており、それを取り替える必要があるのですが、そのシャフトに新旧2種のサイズがあり、そのどちらなのかは、デフを開けてみないと分からないということです。取り敢えず先に調達できる部品を手配し、それが届くのが1週間後なので、その時デフを開けることにして、もしサイズが合わない場合は、別途製作となるため、納期が何時になるか判らないという話でした。一難去って又一難といった状況でした。うまくいった場合でも、あと1週間はかかるというわけです。もうこうなれば、ジタバタしても無駄だと腹をくくりました。なるようにしかならないのです。ということで、それから1週間は、今度はトヨタの駐車場の片隅に居を移しての暮らしとなった次第です。ただトヨタの場合は、代車も出して頂けるというので、これはラッキーでした。

というわけで、突然の横手市での暮らしを半月味わったという話です。それまでの横手市についての情報と言えば、随分昔に同じ職場にいたKさんがこの地の出身で、実家に不幸があつて弔問に訪れたのが初めてでした。しかし、その時の街の印象は記憶には残っていませんでした。その後、これは偶然なのですが、昨年春の旅で横手公園だけは訪ねているのです。その時は通りかかった近くの道の駅：山内(さんない)という所で、家内が桜の花の蜂蜜を手に入れた際に、それが横手城址の桜から採れたものだということを聞いて、ちょっと寄ってみようということだったのです。まさかこのようなことでお世話になるとは夢にも思いませんでした。

さて、その横手市での暮らしなのですが、楽しみの多いものでした。一時はどうしたものかと戸惑いもありましたが、歩き回っている内に次第に面白さが増し、未知の街を知る楽しさを味わうようになりました。

横手市は合併して広大な面積を有していますが、旧市街地のあるエリアは東西4km南北6kmほどしかなく、主な都市機能の殆どはこのエリアに集中しています。最近のTVでのJRの宣伝(大人の休日倶楽部：吉永小百合出演)で、重伝建指定である横手市増田町の内蔵が取り上げられていますが、あれは合併後に横手市となった場所で、現地に住む人たちから見れば、少し違和感を覚える口上のような気がします。

さて、その横手市を毎日歩き回りました。住まいのイオンの駐車場は、秋田道のインターチェンジに近い横手市の南に位置しており、そこから北にある市役所までは3kmほどの距離があります。その市役所の北東側に横手公園があり、これが城址なのです。そこまでほぼ毎日、早朝散歩で通いました。城の下には横手川が流れていて、その堰堤が遊歩道となっており、ここを通るのが楽しみでした。桜は終わりつつあるものの、野草たちは随所に花を咲かせており、退屈などとは無縁の毎日でした。いつも同じ道を辿るのではな

く、往路は旧市街中心に、復路はバイパスなど新しく出来た道に連なる店舗街などを通るようにして、街の殆どを歩き尽したという感じです。歩数計は毎日2万歩を超えるレベルでしたが、さほど疲れは感じませんでした。

横手市で有名なことと言えば、昭和30年代に若者だった人たちなら誰でも知っている筈の「青い山脈」や「若い人」などの作品の舞台がこの地であったということでしょう。作家石坂洋次郎は、その昔ここに住んでいて、女学校や中学校で教鞭をとりながら、これらの作品のベースとなる様々な体験をされたということです。その教鞭をとった女学校は、今は横手城南高校となっていますが、その近くに石坂洋次郎の文学記念館がつくられています。青春時代の喜びや哀しみなどの混ざり合う、若者たちにそれなりの希望や志を与えてくれた作品がこの地で生まれたのを感慨深く味わった次第です。

横手市は秋田久保田藩の支藩の一つで、県南の文教経済の中心地として、明治以降も伝統を守り、育てて来ている場所なのだというのがよく解る半月でした。街中を歩くと、古い建物や偉人たちを讃える多くの石碑などが見られて、それらを一つひとつ覗く度に、この地は人を大切にしてきた所なのだと思ふことができました。武家屋敷なども残っていますが、そのエリアはほんのわずかで、江戸の昔も城を構えていたのではなく、館があっただけということですから、武家の力よりも商家や農民などが大きな影響力を持った場所だったのかもしれませんが。でも、飢饉のために大勢の人が亡くなったのを供養する石碑などを見た時は心が痛みました。

歩き回るだけでは片手落ちだと、ある晩は偶々神明社の祭事があることを知り、そこで奉納される舞楽などを観に行きました。散り残った桜の枝の間に半月が輝いて見える境内の中で、古式豊かな雅楽の音曲が奏されるのに合わせて、三つほど舞などが奉納されるのを観たのですが、いずれも気品があり、小さいながらも神社の伝統がしっかり受け継がれているのがわかり感動しました。

代車が使えるようになってからは、少し足を延ばして前述の重伝建の増田町の内蔵のある商家街地区を訪ねたり、日本三大盆踊りの一つで有名な羽後町の西馬音内(にしもない)の地を訪ねたりしました。盆踊りの時期には程遠いタイミングでしたが、その時期に訪ねる時はどうすればよいかのヒントなどを得た時間でした。また、一晩だけでしたが、近くにある(と言っても岩手県に入りますが)西和賀町の巢郷温泉という山の宿に泊って、山の湯を満喫したりしました。車が故障しなかったら体験できない時間でした。

横手市に住んでみて、旅人が一番困ったことは、コインランドリーが少ないことでした。新しい市街地なのに、なぜかコインランドリーだけは極端に少ないのです。一番近い店でも約1kmはあり、そこまで歩いて洗濯物を運ぶのは大変でしたが、キャリーを引っ張ってのピクニックのつもりで往復した次第です。この歳になって、このようなスタイルのピクニックは初めてのことでしたが、それなりに面白い出来事でした。願わくば、横手市のクリーニング業界の方には、もう少しコインランドリーを、新しい商店街の中にも増やして欲しいなと思いました。

さて、その後の故障修理のことですが、幸いなことにデフのシャフトのサイズは、調達部品と適合していて、1週間後には修理が完了しました。実に半月ぶりに我が家が動けるようになったのです。嬉しいとい



横手市、横手公園(城址)から南西方向を俯瞰すると、横手川のはるか向こうに、純白の冠雪を纏った烏海山の雄姿を遠望できる。心の引き締まる厳かな景観だ。
(5月3日撮影)

うよりも、ホッとした気持ちと共に、何故か、横手市とさよならするのがちょっぴり寂しいという思いが膨らむのを抑えることができませんでした。この半月の横手市滞在の体験は、我が人生においての貴重なものであり、生涯、横手市に対する親近感が消えないものとなるに違いありません。 (2017.6.3 記)

◆ 新入会員紹介

第14回総会后入会された方は下記の方々5名で、第15回総会にてご紹介しましたが、当日欠席された方もおられましたので改めてご紹介いたします。

石川 正美さん



この度、新規にメンバーになりました石川正美です。私は、本年3月をもって、46年間勤めた会社生活に、終止符を打ちました。

4月になって、家庭中心の生活になったのですが、本当に長かった会社主体の生活スタイルが染み付いていて、そこから抜け出せず、家族には、いろいろ迷惑をかけてしまいました。

そこで、何事も”決めず・悩まず・望まず“で、主体を家族にゆだねる事で、ようやく第2の人生のスタートを切ることができました。

今は、学生時代の仲間と、旅行に行ったり、会食をしたり、女房と2人のゴルフを楽しんだり、気儘に、年金生活を、謳歌しています。

河村 賢造 さん



和光会の一員となることができ嬉しく思います。良いのか悪いのか、まるで緊張感のない日々を送っています。そのくせ「無芸大食」で、あまり人生を楽しむ術を知りません。

これからの人生の楽しみ方は、青春時代に熱くなった「忘れもの」を取り戻しにいくのがいいとも言われますが、ならば、自分にとっては「読書」でしょうか。どんなジャンル？それは秘密ですが、近くに図書館があるのでよく通っています。後は言うまでもなく、美味しいものを食べに行

ったり、食べたいものを自分でつくってみることくらいでしょうか。それから、実家の福山はよく行き来していますので、帰省以外で家内と遠出する「旅行」は今は少ないです。いずれにせよ、これからは、諸先輩方をお手本にして、明るく、楽しく、元気で過ごしていきたいと思います。

新参者ですので、どうかよろしく願い申し上げます。

酒井 秀行さん



昭和55年（1980年）4月1日入社、平成29年（2017年）3月31日定年退職を迎え、改めて4月よりシニアキャリア社員としてデビューしました「酒井秀行」と申します。この度、和光会へ入会させて頂きましたので宜しくお願い致します。

入社以来、一貫して営業畑を歩んできました。現在は、本社昇降機新設事業本部に所属し、新設販売した昇降機を一日も早くメンテナンス契約に結び付けるべく活動しています。

現役時代と何ら変わることなく忙しくしており、セカンドライフを満喫するのは当面、お預けですが趣味のゴルフ（野田市の紫CCに入会しました）・料理作り・家庭菜園・旅行などで余暇を過ごして行きたいと思っております。と同時に和光会を通じ、諸先輩OB・OGの方々とも交流を深めていければと思います。新米会員ではありますが、宜しくお願い致します。

小原 啓市さん



2017年3月に定年退職し、現在は、トーコービルシステム(株)総務部に勤務しております。入社は、昭和56年で、東京西支社・東北支社・人事部・東関東支社・中部支社・海外事業部での勤務経験があります。この度は、和光会に入会させて頂きました。

セカンドライフについて諸先輩のアドバイスを頂きながら、ソフトランディングを図っていきたく考えております。皆様、宜しくお願い申し上げます。

平間 勉さん

お世話になっております。営業本部ファシリティ営業部の平間です。

4月よりシニアキャリア社員として勤務しております。

定年退職前と仕事内容・量ともに変わっていませんので、会社ではいつも忙しく過ごしていますが、その分休日はゆっくり休んでいます。将来の悠々自適な生活を目指して、しばらくは仕事に頑張っていきたいと考えています。皆様、宜しくお願い申し上げます。

◆ 訃報ご報告

下記の方がご逝去されました。改めてここに哀悼の意を表し、謹んでご報告申し上げます。

田中 英之氏（2016年4月20日ご逝去）（享年78）

なお、故田中 英之氏は1960年（昭和35年）4月に入社され、本社総務部 会計課、本社経理部 課長、本社監査室 室長、本社人事部教育センター 所長、本社人事部健康推進センター 所長などを歴任され、1998年（平成10年）3月定年退職されるまで、主に経理・人事部門で活躍されました。

◆ MELTEC 情報

○ 2017年4月1日現在 MELTEC データ（社員数・事業所以外は2017年3月31日現在）

- ① 社員数：9,496名(2017-4-1現在)
- ② 事業所数：277ヶ所(同上)
- ③ 商品別契約台数・件数(2017-3-31現在)
 - ・昇降機保守契約台数：248千台
 - ・冷熱保守契約台数：433.千台台
 - ・遠隔管理サービス(メルセントリー)件数：18千件
 - ・ビル設備保守件数：30千件

◆ 事務局より

- ・ 第15回目の総会も大変盛り上がり、無事終了いたしました。
今回もいつものように各事業本部よりノベルティグッズをご提供くださいました。
昨年、瀧井恭夫元専務より またご寄付をいただきました。和光会運営に活用させていただきます。
- ・ 和光会会報№.34より「くるま旅くらし心得帖」の山本拓弘氏よりくるま旅について投稿いただいておりますが、今回も投稿いただきました。今回は、秋田県横手市での失敗談です。
なお、山本拓弘氏の「くるま旅くらし」の最近の様子は下記ブログに載っておりますので是非ご覧ください。「山本馬骨」で検索しても可能です。
<http://blog.goo.ne.jp/vacotsu8855>
- ・ **和光会ホームページのアドレスが変更されました。**
総会でもご案内した通りホームページのアドレスが変更となりました。
新しいホームページは下記の通りです。
http://www.geocities.jp/meltec_wakokai_hp/
お気に入りに登録されたアドレス（URL）の変更をお願いします。
今後も適時情報を更新していきますので、ご意見ありましたら事務局までお寄せください。
- ・ 和光会の連絡・問い合わせ窓口について
第6期より会社（人事部）が和光会を全面的に支援して下さることになり、OB会事務作業（会員との連絡・通知、1194・カレンダーの送付等）を人事部の委託によりMTBにお手伝いいただいております。MTBの担当は総務・人事支援部（部長：志摩 正樹）です。
担当：木村 律子BD、佐々木 敏行、野原 菜穂
電話：03-3803-8865（代表）
FAX：03-3803-8875
E-mail：meltec-OB-wakokai@mtb.ssg.meltec.co.jp
- ・ 住所変更等通常の連絡・問い合わせはMTBの上記和光会担当か、和光会事務局（寺門）で済むと思いますが、会社の人事部の窓口は年金・基金を担当している方で次の通りです。
担当：大峰 勝則 SK
電話：03-5810-5392（ダイヤルイン）
FAX：03-5810-5501
E-mail：oheki.katsunori@meltec.co.jp

- ・ 2017年度会費納入対象の方は2005年、2008年、2011年、2014年および2015年に入会された方々になります。対象者宛に先回「1194」「和光会会報」送付時振込用紙を同封いたしましたので、会費「4,000円（2年分）」の振り込みが未だの方は次の口座宛振り込み賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

会費振込先：ゆうちょ銀行

〔記号〕 00100-7

〔番号〕 650896

〔加入者名〕 和光会

- ・ E-MAIL 会員各位へは INFORMATION をお送りしておりますが、最近不達が増えておりますので、**メールアドレスの変更時は速やかにご連絡**をお願いいたします。
- ・ 「和光会会報」・「1194」・カレンダーなどを会員宛送付しておりますが、宛所不在で戻ってくる場合がありますので、**転居・住所表示変更等の場合は速やかにご連絡**をお願いいたします。
- ・ パソコンのある方は、会報や総会写真を下記和光会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

http://www.geocities.jp/meltec_wakokai_hp/

皆様の日頃の活動やグループ活動などのお便り・投稿をよろしくお願ひいたします。

22017-7-15 和光会事務局 寺門 三男
029-872-4122 mitsuotera@jcom.home.ne.jp